

あずまし!

アルク リフォーム 実例集

Alc: reform & renovation

あるく りふぉーむ あんど りのべーしょん

住まいを思いやる心を大切に



www.alc-alja.com

アルクあるじゃ



奥生

よみがえる!

新築を超える。熟練の技を駆使した全面リフォーム。



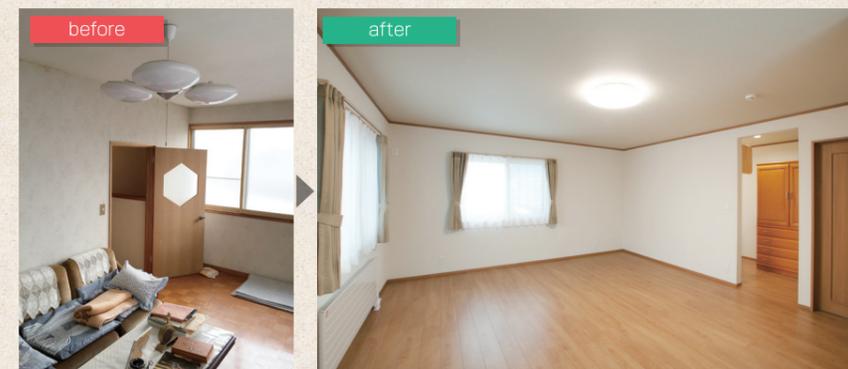
after

メリハリのきいたサイディングの貼り分けで和風調だった外観がモダン調に。

お施主様ご夫婦とお母様の同居のタイミングで長年、地域のリフォーム施工実績のあるアルクをご指名頂きました。施工前には別々で使い勝手が悪かったキッチンとリビングを広々と開放的なLDKに仕上げました。また床暖とパネルヒーターで家全体が暖かく過ごしやすくなりました。外観もサイディングの貼り分けで和風調からモダン調に。また駐車スペースとして新たにカーポートを設置して車の駐車が楽になったとお施主様もお喜びです。



約30畳の広いLDK実現のため、鉄骨の梁3本を補強として施しました。



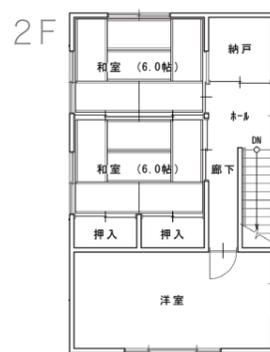
LDKに負けじと2階のお部屋も。不要な壁を撤去して広々と。



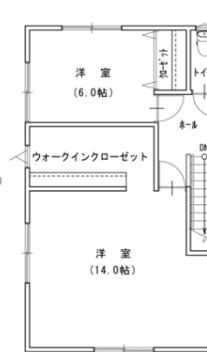
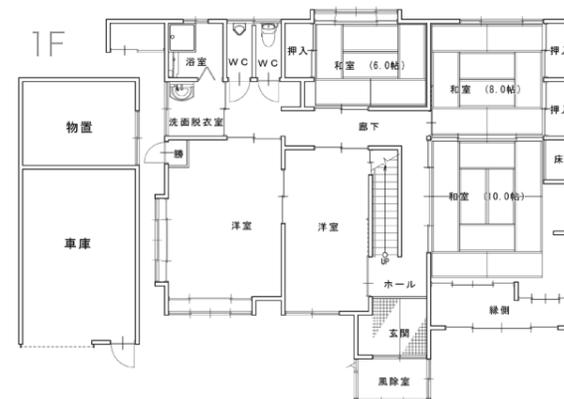
before



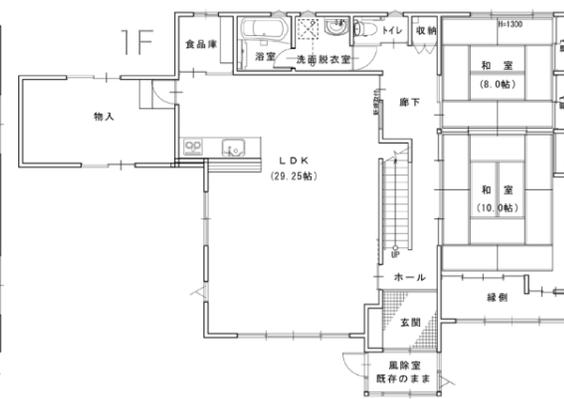
手すりだけではなく、段数を2段増やす事により緩やかな階段に。昇り降りが格段にやすくなりました。



施工前平面図



施工後平面図



2F

何度も増築、改修を繰り返した建物を快適な家へと全面リフォーム。

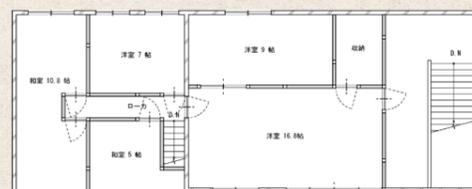


明るくモダンな外観への生まれ変わりを目指しトータルコーディネート。

長年、増築や回収を繰り返してきた建物は、昔ながらの和室が繋がった四つ座敷の間取りでした。

南面に大きな窓があっても部屋が仕切られてしまい薄暗く、更には断熱性能が低い大きな窓は熱を逃しやすい“寒い家”の大きな要因でした。高断熱・高气密のサッシの取替えや、部屋の間取りを再設計することにより明るく暖かい快適でつろげるお家になりました。

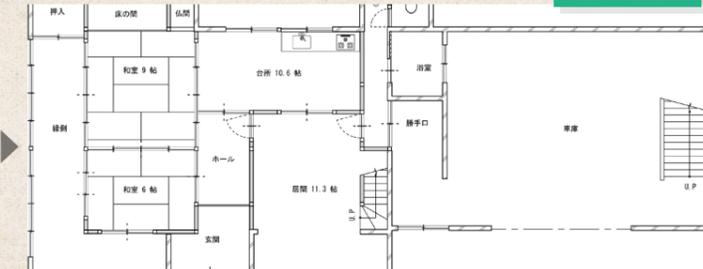
外壁を塗り替えることで、明るくモダンな外観に生まれ変わり、屋根もサッシに合わせてコーディネートされ、全体に落ち着いた印象に仕上がりました。



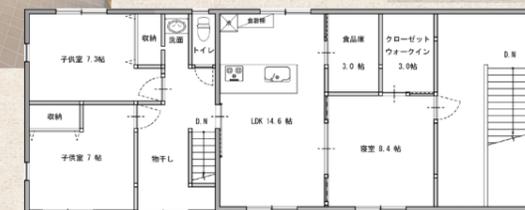
施工前平面図 2F



施工前平面図 1F



施工後平面図 1F



施工後平面図 2F



使いづらかったキッチンが、広く明るくなりました。家族がどこにいても目の届く対面キッチンはバックスペースも大きく取っていて、ゆとりある作業スペースを確保しています。



くつろぐには程遠かった和室が、単独で使える開放的な和室になりました。



広々した玄関ホールなので廊下部分も開放的です。階段は玄関から直接見えないように袖壁を設け、階段下を有効活用して至る場所に収納スペースを作り上げます。

水回りを中心に家族皆の使いやすいスペースを追求。



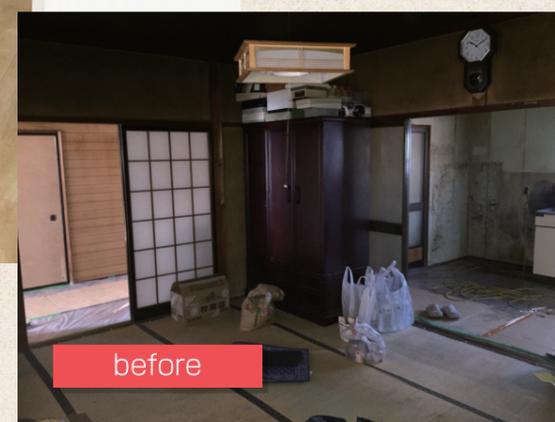
天井高を出すため梁を表しました。更に光の取り込みも意識した施工で明るく、家族皆が自然と集まるLDKになりました。



玄関からの導線を意識し、スッキリとした廊下周りに生まれ変わりました。



リフォームに合わせてゆったりと使いやすいゆとりのサンルームを新設。お洗濯もはかどります。



before



before



after

外壁は吹付け塗装で温かみのある外壁となりました。

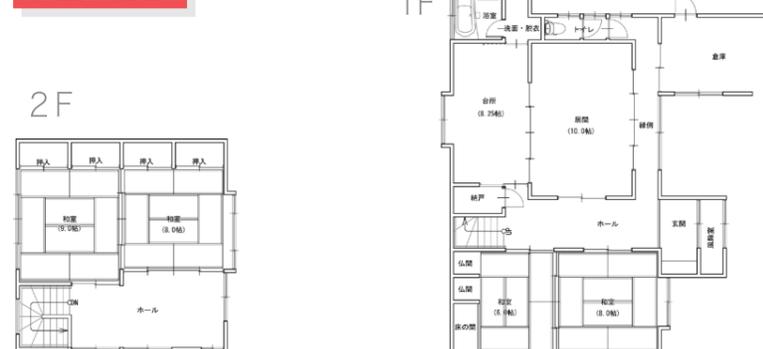
小物置き（ニッチ）のクロスを貼り分けたりと、細かな部分にまでインテリアにこだわりました。

長年家族を支え続けてきた大切な建物も、どうしても現代の生活様式とはかけ離れ、寒さや暗さ使いづらさが気になってきます。

家族をこれからも支えてくれる大切な家として間取りをすべて見直し、新たに暖かく明るい使いやすいお家へと生まれかわりました。

熱効率や省エネと言った機能面はもちろんのこと、つつい何かを飾りたくなる可愛い小物置きや、ピンポイントで柄の入ったクロスを使用する等、家族が楽しく暮らすための様々な工夫を施されています。

施工前平面図



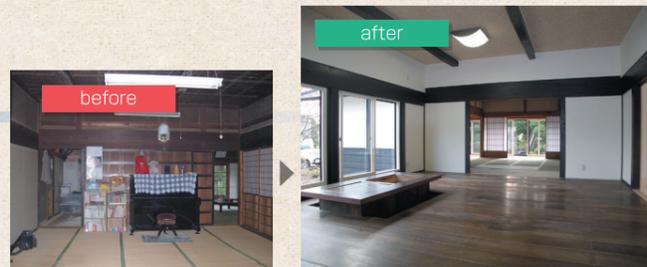
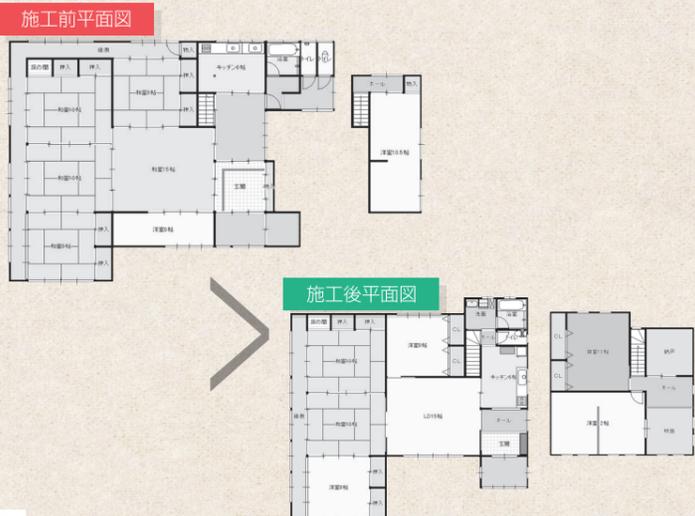
施工後平面図





悠々自適に。
匠の技による古民家の再生。

「代々守り続けてきた茅葺き屋根の面影をどこかに残したい」というご主人の要望に答え、玄関に驚きの演出を。茅葺き屋根のカヤは使っていないはずなのに、玄関の吹き抜けで見せる小粋な茅葺き屋根は訪れた人の心を捉えて離しません。これこそが、匠の技で洒落た空間を作り、ゆったりと住み心地良い古民家に魅せられたアルクならではの徹底リフォームなのです。心遣いは細部にまで行き届き、縁側と部屋に使われていた古いひば材は厚みのある立派な床に、大きな炉は掘り炬燵風のテーブルにと、新しい生活空間をもデザイン。古き良きものを尊重しながら、寒さ対策には万全を期した、日本のふるさとを象徴するような快適住宅です。



昔ながらの梁や床は残し、シンプルで機能的な家に蘇りました。



茅葺き屋根の面影を残した匠の技の玄関ホール天井



ご主人の晩酌がすすみそうな、風情あるあったかい掘り炬燵。

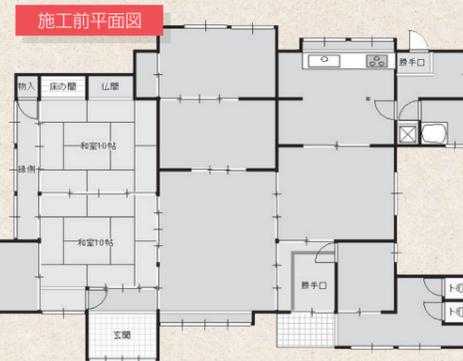
築 230 年。
古き良きものを主役に。

主は現代 6 代目という歴史ある建物に、親、子、孫の 3 世代 7 人が仲良く暮らす古民家は「古い」「寒い」が悩みの種でした。新築かリフォームを考えていた頃、古民家を取り壊して新築した友人から、「解体の時、古くて立派な梁もったいなかった」という話を聞き、古き良きものを残そうと、リフォームを決めたのです。アルクの斬新リフォームは、これまで 3 室しかなかった部屋を 20 畳の LDK を囲むよう、光に包まれた 5 つの部屋に改造！土間を風除室、天井板は腰壁に用いるなど、古き良きものを最大限に活かしてリフォームしました。なかでも、取り壊した時あらわになった梁を有効活用した、アルクの技は一見の価値あり。家族の歴史をすべて見守ってきた、どっしりと存在感のある黒い梁は、家を支えるのももちろん天井のオブジェとして、この家のシンボルになっています。

野津こうへいさんが
TVCN で実際に壊した壁は
立派に蘇りました！



歴史を感じさせる梁が見えるよう、欄間はガラスを用いて

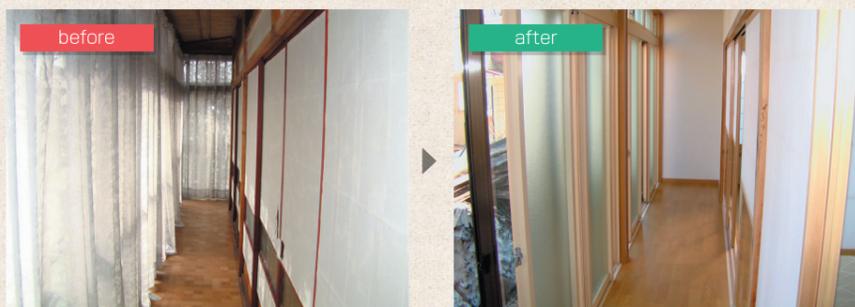


これまで居間だった場所がゆったり広々、対面式キッチンに！

目からウロコの施工術 部分リフォームのご紹介。



狭い階段も、手すりを付けて広々安心。



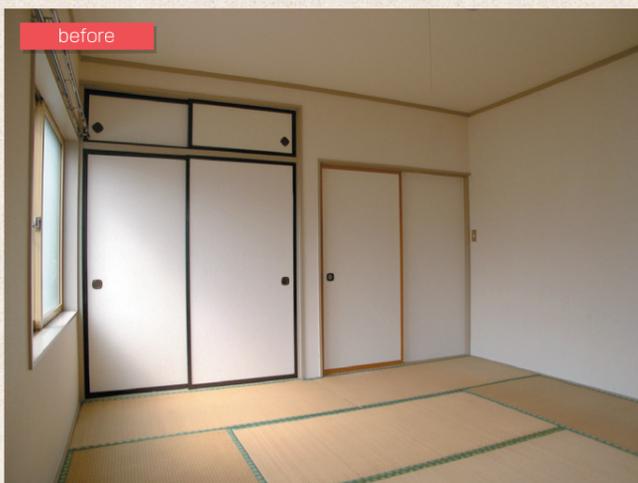
古い廊下に二重サッシをつけて寒さを解消。明るく落ち着いた空間に。



まっすぐ急な階段を曲がり階段にすることで緩やかになったり、また広い玄関ホールもできました。

廊下・玄関・お部屋。

フローリングに段差のない琉球畳を組み合わせて、くつろぎの空間を演出。



古い、畳の和室が、モダンな雰囲気の洋室に生まれ変わりました。

浴室・トイレ・洗面。



ひんやりと寒いタイルの浴室が、冬でも暖かいユニットバスに。機能性やデザインに優れた、最新のお風呂をご提案いたします。



和式便器から、心地よいウォシュレット付き様式便器に生まれ変わりました。

キッチン・ダイニング。

ちょっとした隙間にタイルをあてて個性的な棚を演出。



昔ながらの古いキッチンも、収納量たっぷり使いやすいレイアウトのキッチンに改修。住む人、使う人の使いやすさを真剣に考えた工事を徹底しています。



キッチンと、リビングが別々で使いづらい場合は広く開放的なLDK改修工事も得意です。